

”世知原っ子に「夢」と「笑顔」と「達成感」を”

夢をもち、心豊かで、たくましく生きる子どもを育成する



開 知

○笑顔いっぱい
○学びいっぱい
○元気いっぱい

世知原小だより第10号 令和元年5月31日文責 久保 克則

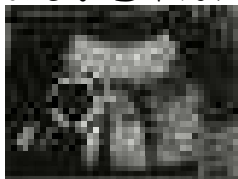
「いのちを見つめる強調月間」

平成16年6月に本市において発生した事件を受けて始められた「いのちを見つめる強調月間」も15回を迎えることとなりました。しかしながら、事件を決して風化させることがないようにするためにも、取り組み続けなければならないと思っています。この取組の4つの柱は、①心の教育の更なる充実を図る②コミュニケーション能力の向上を図る③子どもの居場所づくりを図る④学校と家庭、関係機関との連携・協同を図る、となっています。

この期間中、全学級での特別の教科「道徳」の授業参観や平和集会、学校開放週間などにより、豊かな心の熟成を目指していきます。まず、その最初として、今朝全校朝会で「いのちのはなし」と題した校長講話をいたしました。その内容を要約したものを掲載させていただきます。ご一読いただければ幸いです。

今年も、明日から「いのちを見つめる強調月間」の6月を迎えます。今日は、その最初として校長先生がお話をします。昨年と同じ「いのちのおはなし」です。

昨年は校長先生の長女が結婚し、お腹の中に赤ちゃんがいて「10月ごろに、おじいちゃんになります。」というお話をしました。



この写真を覚えていませんか。お腹の中にいる赤ちゃんを映しているものを、2年生以上のおみなさんには見てもらいました。生まれる5か月前ごろの写真です。顔の作りがはっきり映っていましたね。

そして、学校だよりでもお知らせしたのですが、昨年の10月13日に「おぎゃー!」という大きな泣き声を出して、無事に生まれてきてくれました。私は「おじいちゃん」になりました。



実は、生まれた時は小さくて、体重が2,550gでした。もし50g少なければ、保育器に入らなければいけなかったそうです。ちょっと心配しましたが、「○ちゃん」は周りの心配をよそに、すぐにお母さんのおっぱいを見つけると、すごい勢いでおっぱいを飲み始めたそうです。その後も、毎日誰に教わったわけでもないのに、たくさんおっぱいを飲んでくれています。



そして、1日1日どんどん大きくなっていいっています。

今から見せる動画は、今年の5月3日に撮影したものです。

生まれてから約7か月たったころになります。

どうでしたか。みなさんは、このころのことを覚えていませんか。覚えていませんよね。もちろん校長先生も覚えていません。誰に教えてもらうというわけではなくて、自然に周りの人が誰かを分かたり、触られると感じるようになり、うれしいとか楽しいとかという感情が芽生え、笑顔を見せたり、体を動かしたり、声を出したりして、気持ちを周りの人に知らせることができるようになります。少しずつではありますが、着実に成長していくのです。



人を始めとして、命を授かったものは、その時から一生懸命に生きていこうとするものなのです。

もう一つ紹介します。ここに映っている犬は「○○」という名前で、私たち家族が10年ほど前に飼い始めた犬です。この写真は、我が家に来た1日目に撮ったものです。まだ、生まれてから4か月の子犬でした。それからずっと、家族の一員として過ごしてきました。

